



宮代地区まち協通信

第104号

発行日 令和 4年8月1日

2022年



南宮大社の“寅”

春日天空の茶畑

撮影：福本莞さん

揖斐川町春日六合

「岐阜のマチュピチュ」と称され、標高約300mでお茶が栽培されていることから、「天空の茶畑」と呼ばれるようになりました。遊歩道が整備され、山間の道を進んでいくと、視界が一気に開け、感動的な美しさに出会えます。



「南宮登山の楽しみ方」 宮代の自然と歴史・文化を愛する会
副会長 高橋弘美

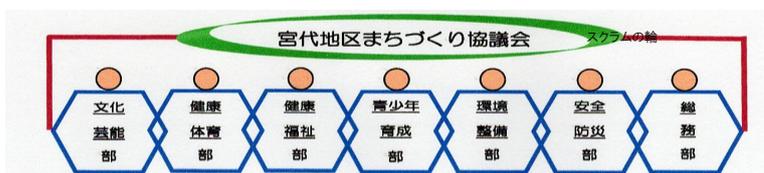
目次

- 南宮登山の楽しみ方
- 8月行事予定
- 「自主防災」について考える
- 令和4年度に向かって 今月も2名の理事の挨拶
- 活動報告 <6月・7月の活動>
- 文芸の広場 中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿のお宝》について

南宮山の高さ、答えられますか？展望台ではありません。展望台からもう少し先に南宮山の頂上があります。正解は、419、2メートルです。「よいくに」と覚えると忘れませんよ。ハイキングコースは、頂上の手前展望台までのコースです。1年間に県内外から1万人ほどが楽しんでおられます。登山道の両側は樹木が生い茂り、直射日光を遮ってくれるので真夏でもそれほど暑くなく、途中2カ所に休憩用の椅子、眺望の良い展望台には東屋があり、楽しく一時が過ごせるところとなっています。南宮山登山大会はハイキングコースで山の日には夏祭りに先駆けて実施されます。薄暗い中での登山です。足元にはご注意ください。浮き石も多く滑りやすくなっています。最近はやまビルが多く発生しています。ヤマビルは二酸化炭素や熱を感知して出てきます。吸血されると跡が残り、血が止まりにくいです。撃退用にはアルコールスプレー、塩がいいそうです



。また、早朝でも暑いです。大量に汗をかきますので休憩所では水分・塩分の補給をし、十分に休憩して熱中症予防に努めましょう。自分のペースで、早さを競うものではありません。「鎌倉殿の13人」で小栗 旬演じる北条義時の甲冑が20キログラムと、ある民放で放送されていました。毛利秀元の軍が陣をひいた展望台まで、毛利軍の兵は、20キログラム近くの荷物を背負いながら、どんなに汗をかいて登ったのかと思いを巡らせて、一緒に汗をかきながら大会に参加して頂けると嬉しいです。



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	大正琴	4日・18日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	
2	健康講座	6日・20日 14:00~15:00	土	まちセン 大会議室	不破医院
3	玉筆会	10日・24日 13:30~15:30	水	まちセン 大会議室	会員募集中
4	南宮登山	11日 4:45~12:00	木	南宮山	
5	宮代夏祭り	14日 15:30~19:00	日	南宮大社駐車場	
6	陶芸教室	20日・21日 9:30~17:00	土・日	まちセン 大会議室	会員募集中
7	身体障害者人生相談会	20日 10:00~12:00	水	まちセン 大会議室	
8	お花教室	27日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	小学生①部 9:30~ ②部 10:30~

「自主防災」について考える

自主防災組織の育成は、地域にとって大変重要な役割を担っています。

日本では災害対策の最も基本となる法律である、災害対策基本法において「住民の隣保協調の精神に基づく自発的な防災組織」として市町村がその充実に努めなければならないと規定されています。地域住民の連帯意識を高め、防災力を高め、安全で住みやすい地域作りを進める観点からも重要だと思われ、住民主体の防災力の向上が必要です。

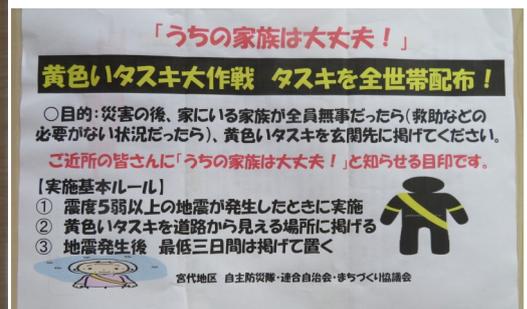
- ① 自助 自らの安全は自分で守る。
- ② 共助 近隣住民が協力して助け合う
- ③ 公助 公的機関による救助活動、および公的な支援

この3つが防災対策の基本と言われています。7月宮代地区連合自治会連絡協議会が開催され、自主防災の一環として、「災害避難訓練」を8月7日（日）一斉美化デーの日に実施することが決まり、その活動が具体化されると共に、組織での役割分担を明確にするよう提案されました。「黄色いタスキ」の活用方法も、宮代地区の住民の方々に解りやすく、実行性のあるものとしての認識を深めて頂く努力をしていくことが決議されました。これを機に皆さんも防災訓練などに積極的に参加し、自分の身を守ると共に大切な人の命をお守り下さい。

自主防災組織の活動

<平常時> <災害時>

防災訓練	地域内の安全点検	避難所管理・運営	避難誘導	情報収集・伝達	救助・救出	初期消火
------	----------	----------	------	---------	-------	------



健康体育部
部長 子安正樹
今年度活躍出来るかな。



体育推進委員の委員長7年目になりました。この2年間で、新型コロナウイルス感染症の為に、体育推進委員の令和2・3年度の活動計画が集団感染を避けるためにほとんど活動出来ませんでした。今年度は、8月に南宮登山大会、10月にふれあいスポーツ宮代2022、11月にさわやかスポーツ大会を行う予定をしています。密接・密集を調整し、十分な対策を進めながら開催できればと思っています。年々、少子高齢化により行事への参加者が減少しています。少しずつですが、皆様が参加しやすい競技や軽スポーツなどの提案をしたいと思えます。新型コロナウイルス感染症の終息を祈りながら活動して参りますのでご協力お願い致します。

安全防災部
部長 立川昌司



宮代地区まちづくり協議会
安全防災部の部長を務めることになりました。宮代地区の住民の皆様が、安全・安心に過ごせるように、今年度も活動してまいります。未熟ではありますが垂井町消防団宮代分団員と共に、安全防災部長として、まちづくり協議会の行事に参加しながら、だれもが安心して暮らせる安全な町になるよう、宮代地区の防災・減災に努めてまいります。防災意識を皆様と共に高め、災害における防災・減災に繋げると共に防災活動にご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

活動報告



6/20~7/19



6月20日 千之子ども教室モリアオガエルの卵見学が宮代小4年生に南宮山麓にある蛇池で開催されました。



6月23日 第2回夏祭り実行委員会会議が開催され、各団体から実施計画が発表されました。



7月1日 総合学習で宮代小3年生が、まちづくりセンターの見学と絵手紙作りを体験しました。



7月9日 連合自治会連絡協議会が開催され自主防災の避難訓練について実施を決定



7月11日 長寿会グランドゴルフ大会が朝倉グランドにて50名が参加して開催されました。



7月19日 千之子ども教室、「トウモロコシの収穫体験」が雨のため出来なかったため、まち協サポ-タ-で行いました。



*野の草に 色まもられて 青蛙
大羽 志津子

*雷鳴に 柱きしみて 雨あがる
石垣 珠泉

*ふうりんが 真夏の暑さ やわらぐよ
中嶋 結映

*香煙の たなびく御堂 祖と共に
傍島 法苑



南宮大社宝物殿のお宝について 其の十七

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

山論裁許之図(寛文12年10月12日)

南宮神社領では野山の開墾がすすみ、新開田畑がふえた。この新開田畑をめぐる開墾した宮代村百姓と南宮神社の間で争いがおき、両者の主張は対立し容易に決着しなかったため、表佐・垂井・府中村の役人が仲裁に入ったが決着せず、幕府の命によって大垣藩が輪所の検分を行う事になった。大垣藩から3名の検使が派遣され、この検使の検分によって寛文12年10月幕府評定所から裁許状が出された。その内容は、南宮山は北は垂井山境、南は栗原山境、西は峯切りとし、百姓は山年貢18石を南宮神社に納め、この柴草を刈り取り、高山の朱筋内は禁制所であるから立ち入らない。山麓の新開田畑である大塚1丁6反4畝24歩、中野6反9畝2歩、若宮4町3反4畝3歩、西山田1町5反9畝5歩、おのぼり7畝22歩、その他18ヵ所合計8反7畝28歩は、今後年貢を南宮神社へ納めること。ただし、おのぼり新田4反5畝10歩は宮代村の再開墾分であるから幕府領の代官に納める事と決まり、さらに数十年間百姓が多くの新開田畑の年貢を納めて来なかったため過料が申し付けられました。神田代と市場野は南宮祭礼場、大領大神は南宮の末社、外輪野の新開墾分は氏子共に大領大神の歩射田とする。以上のように検使である大垣藩士3名の検分によって右上の絵図が作成され、評定所の面々の裏書きと連印がなされ、南宮神社と宮代村に1枚ずつ渡されて紛争が解決しました。



<編集後記> 特定健診受診率上昇へ

7月分の配布資料の中にもありましたが、生活習慣病の予防のため、40～74歳を対象に自治体が行う「特定健診」。情報によりますと、垂井町は4年連続で受診率が県内最低だそうです。垂井町としては外部企業と連携して受診の啓発に取り組んでいます。個別の呼びかけや、啓蒙活動を行い、アンケートを実施するなど受診奨励の策を練っています。この機会に皆さんも是非受診し、汚名返上に協力して頂くと共に、ご自身の健康をお守り下さい。

8・9月の休館日

8月2日(火)・9日(火)
11日(木)～16日(火)
23日(火)・30日(火)
9月6日(火)・13日(火)
20日(火)・27日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター

TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



まちづくりセンターから西の方角の風景

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい